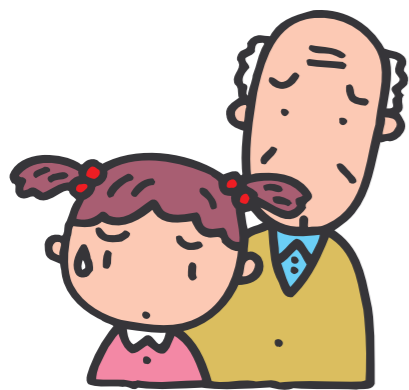


福祉・くらしバツサリの「大計画」

医療費値上げや庶民増税を押しつける小泉内閣。これにおうちをかける阿部市長の「福祉・くらしバツサリの大計画（行革プラン）」に不安が広がっています。4月の市議会議員選挙を前に、各党の態度が問われています。

さっそく新年度予算(案)では

ねたきり老人介護援助手当“打ち切り”など 冷たい“福祉切り捨て”ズラリ



増額が切望されていたねたきり老人介護援助手当(月1万円)は、新年度予算案では、受けられる人が3,256人から82人に減ってしまう事実上の打ち切り。特定疾患療養費補助、生活保護受給者への慰問金、基本健康診断事業、敬老祝い金、ホームヘルパー派遣事業などもバツサリ。

さらに右の「行革プラン」市議選後の本格実施へ、具体化がすすめられています。

「行革プラン」に各党は...

- 自民党...積極的に推進
- 公明党...天まで持ち上げ推進
- 民主党...推進・容認
- 神奈川ネット...容認

日本共産党

福祉切り捨てに反対し、独自の財政健全化策を提案

敬老バスを有料化
老人医療費助成を廃止
ごみ収集を削減・有料化
(普通ごみ収集の回数べらし
中小業者・商店ごみの有料化)

重度障害者の入院時食事療養費助成を廃止
障害者バス特別乗車証(券)を有料化
民間福祉施設への運営費補助を削減
市立診療所・がん検診センターを廃止
子ども・高齢者・障害者の公立福祉施設を民営化
上下水道料金を大幅値上げ

福祉・くらし 充実させながら市財政をたて直せます

ムダな大型開発 やめれば



昨年4月、高速川崎縦貫道1期区間(浮島~川崎競馬場)の一部(3.6km)が開通。しかし、車はほとんど走っていない。

1メートル1億円
“車が走らない高速道路”建設
高速川崎縦貫道 1期区間の残工事 市費約1,000億円(試算)
川崎臨海部の大開発
基盤整備の総事業費8,000億円~1兆円
市費3,000億円~4,000億円(試算)

「行革プラン」は、“財政危機”といいつつ、大型開発推進を宣言。不要不急の高速道路建設や臨海部の大開発にばく大な税金をつぎ込む計画です。財政再建どころか、いっそうの破たんへの道です。

“財政危機”の最大の原因 無駄な開発をただちにやめれば、福祉・くらしを守り充実させながら、市財政の再建にもとりかめます。

日本共産党はみなさんと力をあわせて 川崎の福祉、市民のくらしを守ってきました

敬老バスや老人医療費助成、ごみの毎日無料収集、「1万人に1か所」の保育所 「手厚い福祉」が特徴だった川崎市(「東京新聞」2月6日付)をつくるために、日本共産党は、みなさんと力をあわせてきました。「川崎の福祉」を根こそぎこわす計画も、力をあわせれば押し返せます。現に、日本共産党が「やめよ」といつてきた敬老バス・老人医療費助成の有料化・廃止は、老人会など市民の反対の声が広がり、新年度からの実施は見送りとなりました。



日本共産党市議会議員(幸区)
プロフィール 幸区北加瀬生まれ。御幸小・中学校、県立川崎高校卒業。横浜市職員として働きながら法政大学第二文学部で学ぶ。「新ながわ」記者・参院議員秘書などを経て、87年から市議4期。16年、現在、市議会市民委員、党市議団長、幸民主商工会顧問。

ちくま幸一

乳幼児医療費の無料化を4歳まで引き上げ

「乳幼児医療費助成を東京都なみに就学前までに」とくり返し要求し、昨年1月から「4歳まで」が実現。日本共産党の質問に前市長が「前向きに検討(200年3月議会)と約束していたものです。学童保育の存続や30人学級、中学校給食の全校実施などの実現にも全力をあげています。

介護保険料・利用料 減免制度を改善

日本共産党の発議で「介護保険で万全を期すよう求める市議会決議」が全会一致で可決(99年9月議会)。30万円もっていると保険料・利用料の減免が受けられなかった「所持金基準」の改善を議会ごとに要求。200年度から、「一人暮らしは30万円、夫婦では45万円まで」に拡大されました。

地域経済振興で「5つの対策」 9万人の署名を力に

市民のみなさんとくんだ「地域経済振興・まちおこし条例」制定を求める直接請求運動。9万人の署名が集まり、臨時市議会が開かれました(200年4月)。中小企業・地元建設業・商店街・農業への支援強化など「5つの対策」の検討を約束させ、新年度予算案ではじめて「建設業振興事業」の予算がつきました。

税金ムダづかいの計画 2700億円 やめさせました

“船の来ない港”で有名になった川崎港コンテナターミナルとファズ物流センターの事業中止を主張しつづけて、前市長が2・3期計画の見直しを表明(2000年12月議会)。「オール与党」が推進するなか、大型開発のムダをきびしく追及し、財政健全化にとりくんできました。

中止・凍結

船の来ない港(川崎港コンテナターミナル)2・3期 約400億円
かわさきファズ事業2・3期、コンベンションセンター建設など 約1300億円
浮島7万人サッカー場建設など臨海部イベント事業 約1000億円

